

### ソフトボール専用球場の建設について

四 竈 英 夫

〔質疑〕健康増進を図るため、ソフトボールの愛好者が増えています。白石市には二面の球場がありますが、十分な広さがありません。ファウルグラウンドが狭く、打球を追った場合危険です。

また、グラウンドの上空には高圧電線が架かっており、打球がぶつかるともすればし

ばです。さらに球場の駐車場も狭く大会のたびに選手関係者は苦労しております。

これらの諸事情を改善し、愛好者の要望に応えるため、ソフトボール専用球場の建設に取り組む考えがないかお伺いいたします。

〔答弁〕現時点でソフトボール専用球場の建設に取り組む予定はないと考えている。また、芝生のコンディション等についても、スポーツをやる者は自分のグラウンドなり自分が使用するものを自分で掃除するのが、当たり前だと教わって来た。剣道をやる者は稽古前に道場を磨いて、終わった後にまた磨いた。

大会においても、白石で実施する場合は、どこを使えるかを把握した上で、既存の施

設を利用いただきたい。なお、市内の多くの場所でさまざまなことが考えられるが、あくまでも行政主体で行うのではなく、できればその団体が主体となってやって、どうしてもできない部分を行政が担うという、『お互い、ともに汗をかきながら、ともに生きて学んでいく』ことをお願いしたい。

### 学校教育の原点と実践の状況について

佐 藤 憲

〔質疑〕

1 愛国心学習に(全国的には)A、B、Cなどの評価を行っている学校もあるやに聞くが、本市の教育委員会の見解を問う。

2 一斉学力テストで学校を評価し、児童生徒を競争させることが学力向上につながるという考え方があ

教育委員会の見解を問う。

(ちなみに東京ではテストの順位を公表した結果、新入生がゼロとなった学校もある。)

3 (競争を排除し、学力世界一となった)フィンランドの教育実践をどう受け止めるか。

〔答弁〕愛国心学習の評価を行っている学校は市内にはない。

道徳性というものは、道徳的な判断とか信条、あるいは意欲、態度まで含み、非常に難しい。よって、各学校に対しては、広い角度から長い目で、発達段階に応じて、ほかの教育活動と関連づけながら総合的に判断するように提示している。

一斉学力テストの件については、学習の定着度、学習に対する意欲の実態把握が大きなねらいである。指導と評価

の一体化ということで教育活動が実施されれば評価し、改善していくという大きな流れの中で一斉学力テストを位置づけている。

フィンランドの教育実践の受けとめ方については、少数指導のもとに一人一人に、きめ細かな指導をしている。学習意欲を開発するような教材研究が非常に多い。国全体で子供たちの学習環境をよくする意識が高いなど、大変参考になる点がある。

〔その他の質問〕

①工事の入札のあり方の改善について 他

